

一般質問通告書(平成 19 年 9 月定例会)

氏名・答弁先・質問事項	質問要旨
<p>1 2番 村上 和子 1 団塊世代の誘致にもっと力を入れるべきでは。そこから生まれる消費拡大で町に活力を (町長)</p>	<p>企業誘致の難しいときにあって、都市に住む団塊世代の多くは充分仕事もしてきて、貯蓄もあり、残りの人生は健康でいい所で楽しみたいという願望があるが、これらの人を誘致すれば、消費拡大につながり、町に活力を与えることになるのでは。 団塊世代を呼び込む条件として、市街に近い離農した農地等を転用し、新築をした場合などには、ある程度固定資産税の軽減を図る等考えてはどうか。</p>
<p>2 小規模農家の経営支援を (町長)</p>	<p>農業における国の品目横断的経営安定対策は、条件を満たす認定農業者に限り実施されるものであり、上富良野町には認定を受けていない農業者が、まだかなりいると考えるが、その数はどのくらいか。小規模農家は対象外となるため、厳しい経営を強いられるものとする。そこで、上富良野町では小規模農家に対し、収益性の高い生産拡大を指導しているようだが、上富良野町独自の所得向上を図る取り組みをしてはと考えるが、いかがか。</p>
<p>3 子育て支援事業である子育てファミリーサポートセンターの設置を (町長)</p>	<p>平成 16 年 8 月に次世代育成支援行動計画が作成され、その中で全ての児童と子育て家庭を地域で支援する方向が示され、ファミリーサポートセンターの設置などが盛り込まれているが、現時点では制度の設置に至っていない。保育時間外に子どもの面倒を見る時間がない、みる人がいない等の悩みを抱えている方も少なくない。そういった核家族化の中で、育児の援助を受けたい「依頼会員」と、援助したい「提供会員」が事前に登録し、提供会員が児童を預かるファミリーサポートセンターの設置を早急に。</p>
<p>4 食に対する教育の状況と地場産品の利用状況について (教育長)</p>	<p>食料の大切さと生命の尊さということを教育していくことが重要と考える。朝食をほとんど取らない、家族で食事を一緒にすることのない孤食、偏った栄養、肥満、そして生活習慣病の低年齢化と食の問題が憂慮されている。食の教育の基本は家庭にあると考えるが、その家庭の教育力が低下している現在、教育現場での食に対する教育は大変重要だと考えるが、教育現場における食についての教育現状はどのようになっているか。栄養教諭等が必要ではないか。わが町の基幹産業、農業の将来にとっても重要なことであり、学校給食での地場産品の利用状況も併せて伺いたい。</p>
<p>2 7番 金子 益三 1 広域連合について (町長)</p>	<p>平成 17 年 5 月に富良野地方 5 市町村で行った「自治のかたち検討プロジェクト」を経て、富良野圏域の今後の進む方向として広域連合が選択され、その 8 つの専門部会でそれぞれ検討されている事が中間報告されている。そこで次のことについて伺いたい。 1 それぞれの専門部会を広域連合化した場合の、住民に対してのメリット及びそれらを行うための基盤整備等を推進する上での課題点、問題点は何があるのか。</p>

	<p>2 広域連合を構成する5市町村のそれぞれに対する役割と、かかる経費の支弁方法、また、経費負担はどのような取り決め方をするのか。</p> <p>3 富良野市長からは「広域連合は合併の為のステップである」との発言があり、富良野圏域は一つになることが望ましく、その事は4町村の首長とも合意を得たものであるとの発言であったが、広域連合を選択するときの話し合いにおいて、そのような事があったのか。</p> <p>平成20年度から取り組んでいくためにも、以上のことについてこれまでの経緯を含め町長の考え方、ならびに今後におけるわが町の取り組み方について所信を伺う。</p>
<p>2 吹奏楽コンサートの開催について (教育長)</p>	<p>先頃、上富良野中学校吹奏楽部がB編成グループで出場した全道大会で金賞を受賞し、北海道代表校として金沢で行われる全国大会に出場が決まった。また、これに並び、上富良野小学校のスクールバンドも全道大会に出場し優秀な成績を修めたことは、各学校はもとより町内をあげて感動と祝福をするところである。</p> <p>そこで、今後においてもこの素晴らしい出来事がわが町の小中学校の気風として伝統に繋がるためにも、ぜひ、管内にあって素晴らしい演奏を奏でる旭川商業高等学校の吹奏楽部を呼んで、上富良野中学校、上富良野小学校との合同演奏会を行うべきであるとする。</p> <p>情緒豊かな子供たちのための情操教育にも有効なだけでなく多くの町民にとっても素晴らしい音楽に触れる機会になると考えられる。</p> <p>近年行っている陸上自衛隊上富良野駐屯地音楽隊との合同演奏会なども素晴らしい成果を挙げているので、これらも共に進めていけるようにすると世代間を越えて素晴らしい社会教育の一環とすることも出来ると考えるが、町としてそれらを後援し協力体制を組むべきと考えるが、教育長の所信を伺う。</p>
<p>3 9番 中村 有秀 1 富良野地区広域市町村圏の広域連合について (町長)</p>	<p>平成の大合併による自治体数は、平成19年3月31日現在で全国3,232市町村が1,804市町村で減少率44.2%、北海道では212市町村が180市町村で減少率15.1%となっている。町は市町村合併等は重要課題としてとらえ、各年度当初に町政執行方針で明らかにすると共に、各定例議会ごとに冒頭で「行政報告」として広域行政について報告されているが、「広域連合」に至る経過についてみると、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>平成17年5月16日</b> 富良野地区広域市町村圏振興協議会に「自治のかたち」検討プロジェクトチームを設置し、本格的作業に着手。</li> </ul>

- ・平成17年10月14日 「自治のかたち」検討プロジェクトチームから中間報告書が提出される。
  - ・平成18年3月23日 「自治のかたち」検討プロジェクトチームより富良野広域圏振興協議会委員会に最終報告書の提出。報告書では、将来の富良野圏域の「自治のかたち」として「市町村連携」・「広域連合」・「市町村合併」・「広域都市」の4つの選択肢が示される。広域圏振興協議会委員会では、それぞれの市町村において報告内容を住民に説明すると共に住民の声をもち寄り、今後の方向性を見出すことを申し合わせた。
  - ・平成18年4月 町議会議員、住民会長の皆様に説明会を開催すると共に、最終報告書の概要版を町民の皆様に全戸配布。
  - ・平成18年5月10日 最終報告書の概要版により6月6日までの間に、町内7か所で「まちづくりトーク」を開催。52名の参加者から貴重な意見を聞き、アンケート回答を受ける。
  - ・平成18年7月21日 富良野地区広域市町村圏振興協議会委員会で、住民の皆様からの意見と議会での論議を踏まえて、5市町村長がそれぞれ「住民意見の状況を報告」・「意見交換」を行う。
  - ・平成18年8月28日 広域圏振興協議会委員会で方向性について論議した結果、「広域連合」を目指すことが全体で確認された。
  - ・平成18年10月 町広報誌「かみふらの10月(569)」で「上富良野町の将来を目指す姿」として「広域連合」を選択した経過が報告されている。
  - ・平成18年10月23日 富良野地区広域圏振興協議会委員会において、「広域連合」で処理を検討していく事務として、一部事務組合の事務を含む9事務を確認すると共に、広域連合準備委員会を設置すること、さらに、準備委員会設置にむけた5市町村の担当者による検討会議を12月1日付けで立ち上げることを確認される。
- 【対象事務】
- 上川南部消防事務組合・富良野地区消防組合、富良野地区学校給食組合  
富良野広域串内草地組合、富良野地区環境衛生組合、国民健康保険  
介護保険、火葬場、広域圏事務
- ・平成19年1月15日 5市町村長で構成する富良野広域連合準備委員会の設立総会を開催、7広域事業と総務の計8つの専門部会を設置し、平成20年4月の広域連合設立に向けて、討議を開始。
  - ・平成19年1月30日 助役等で構成する幹事会の開催。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>平成19年2月8日</b> 市町村・一部事務組合の担当で構成する専門部会の合同会議をそれぞれ開催し、8部会において広域連合で処理すべき事務の具体的な検討を開始。</li> <li>• <b>平成19年7月9・10日</b> 富良野広域連合準備委員会の専門部会が最終報告を提出。学校給食、環境衛生組合、消防、串内草地組合の4事業は来年4月から広域連合に移行について、委員会にて決定。</li> <li>• <b>平成19年8月9日</b> 上富良野町議会の議員協議会で、広域連合の推移報告が行われる。以上の経過の中で、広域連合は4事業部門で平成20年4月にスタートできると判断しているが、次の各項について、町長の見解を伺う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 富良野広域連合準備委員会としての、今後の具体的な推進計画を明らかに。</li> <li>(2) 「広域連合」を目指すことで、平成18年8月に合意されたが、将来の市町村合併の前提としての合意があったのか。</li> <li>(3) 「広域連合」の処理する事業の共通経費の負担割合について、どのように協議されているのか。</li> <li>(4) 5市町村において、昨年8月の「広域連合」の選択時と現在では、状況の変化があるのか。あるとすれば、何か。</li> </ul> </li> </ul>
<p>2 監査業務関係について (代表監査委員)</p>	<p>1 財政援助団体の監査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 上富良野高等学校教育振興会の会計処理不祥事があったが、平成19年度の財政援助団体数及び、援助金額を伺う。</li> <li>(2) 財政援助団体で職員が事務局を担っている団体数及び援助金額を伺う。</li> <li>(3) 平成19年度の財政援助団体に対する監査状況は。</li> </ul> <p>2 定期監査の工事監査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 標準町村監査基準の定期監査項目の中に、工事監査(第14条1項ウ)の実施状況は。</li> </ul>
<p>4 5番 米沢 義英 1 広域連合について (町長)</p>	<p>富良野地方5市町村広域連合へ不協和音が強まるとの見出し、また、富良野市長は北海道新聞で報じられたが、次の項目について見解を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 広域連合は合併を前提としてのものではないと確認してよいか。</li> <li>2 各部門の広域行政実施の可否と問題点と課題について。</li> <li>3 事務事業費等の各市町村の負担金はどのようになるのか。</li> </ul>
<p>2 病児・病後児保育事業について (町長)</p>	<p>町には現在、乳幼児等の児童が保育中に熱を出すなどの体調不良になると、保護者が勤務の都合で迎えにくるまでの間、預かる体制はない。国は今後病児・病後児保育事業の実施要綱を示しているが、町の対応について伺いたい。</p>

<p>3 妊婦健康診査の公費負担について (町 長)</p>	<p>国は、近年就業等の理由により、妊婦健康診査を受診しない妊婦も見られることから、母子の健康確保のためにも、妊婦健康審査の重要性を指摘している。また、妊婦・出産にかかる経済的負担の軽減策をし、積極的な妊産婦健康審査診査を図るため、妊婦健康診査について、自治体における公費負担の拡充を求めているが、町の対応について伺う。</p>
<p>4 子どもの医療費制度について (町 長)</p>	<p>近年では少子化対策・定住化対策の一環として、医療費の無料化の拡充を行う自治体も増えてきている。子どもの体は、小学校を卒業するまで身体、精神的に弱く、入院、通院の回数がふえることもある。健康の管理は成長期にある子どもにとっては大切なものであり、また、医療費の保護者負担も大変なものがある。</p> <p>上富良野町にも医療費の無料化を小学校卒業するまでに拡充してもらえば助かるとの声があるが、町の今後の対応について伺いたい。</p>
<p>5 国民健康保険税の引き下げについて(町 長)</p>	<p>近年では社会構造の二極化が進む中で、売上の落ち込みや収入の落ち込みで住民の暮らしは大変になってきている。また、各種公共料金の引き上げ、税金の負担増はさらに追い討ちをかけている。また、あまりの国民健康保険税の負担は、滞納者を増やす要因にもなっていると考えるが、町長はどのように考えているか。だからこそ国民健康保険税の軽減策を実施すべきだと考えるが、見解を求める。</p>
<p>6 道路の整備について (町 長)</p>	<p>島津地区の北2 2号東道路、西1線仲道路はいまだに未舗装状態で、舗装の整備を望む声があるが、今後の対応について伺いたい。</p>